

1 教育目標

線部は校区小学校との共通項目

(1) 本校の教育目標

【校訓】 正しく 強く 明るく

○ 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、実践力のある生徒の育成を目指す。

【目指す生徒像】 気づき、考え、実行し、振り返る生徒

○ 21世紀を力強く、心豊かで、しなやかに生き抜くために、行動目標として、自分の行動を振り返る生徒の育成に努める。

ア 創造性に優れ、知恵を磨く生徒

イ 健康で、活力に満ちた生徒

ウ 心豊かで、ともに生き抜く生徒

エ 地域を知り、郷土を愛する生徒

(2) 経営方針

多様な「幸せ」実現

自らの個性を生かして社会で活躍する人材の育成を目指して、ダイバーシティ（多様性）を尊重し、個別多様な「幸せ」の実現を一丸となって支え合う教育活動を行う。

ア 多様な「生き方」を尊重し合う学校づくり

イ 多様な「個」を高め合う授業づくり

ウ 多様な「場」を広げる環境づくり

エ 多様な「絆」で支え合う人づくり

(3) 本年度の重点努力目標

ア 多様な「生き方」を尊重し合う学校づくり

- ・ 学校全体で、互いの「自己調整」「自己決定」を認め合い、多様なライフスタイルを尊重し合う風土を育むことを目指して、「前例踏襲」を打破した業務改革・授業改善に努める。
- ・ 全学年の通常学級で「グループ担任制」を取り入れ、多様な価値観をもつ人とのかかわりを通じて、生徒の成長と自立を促進する。
- ・ 3年間を見通した系統的ないのちや性に関する授業の実施を通じて、人権教育の充実を図る。

イ 多様な「個」を高め合う授業づくり

- ・ 授業の中で「話し合い」「学び合い」活動を取り入れ、多面的・多角的な学びの実現を図る。
- ・ 個別最適な学びの実現を目標とした教員の授業改善研修を積極的に推進する。
- ・ 家庭学習の充実や多面的・多角的な学びの実現を目指して、タブレット端末などICTに関する効果的な活用を進める。

ウ 多様な「場」を広げる環境づくり

- ・ 個別に心の休息や学力の補充を図ることを目的とした「オアシスルーム」を設置し、全教職員による運営を進めることを通じて、きめ細かな支援の実現を図る。
- ・ 不登校傾向の生徒や出席停止生徒へのオンライン授業の積極的な実施を行い、個に応じた学びの実現に努める。

エ 多様な「絆」で支え合う人づくり

- ・ 生徒による連絡用アプリの積極活用を推進し、全校生徒が自分ごととして「自治活動」を進められるよう支援する。
- ・ 自衛隊やJICAなどの外部機関、地域の民間企業、小学校等と連携をした出前授業やオンライン授業を積極的に実施し、地域に根差しつつ社会とつながる人材の育成に努める。
- ・ 連絡用アプリの効果的活用や学校HP・学校だよりによる積極的な情報発信を進めることで、家庭・地域との連携を深める。

一つでも多くの「嬉しい」「楽しい」という「幸せ」な気持ちを子どもたちに与え、「今日は楽しい日だった」「明日はがんばるぞ」と思って帰宅することを大切にできる学校へ